

- 問1 市場経済において、ある商品の供給量が大幅に減少した一方で、その商品を購入したいという需要に変化がない場合、その商品の価格はどのように変動しますか。その理由とともに最も適切な説明を選んでください。(2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 需要が供給を上回ることで商品の希少性が高まり、価格は上昇する。
 2. 需要が供給を下回ることで商品が市場に余るため、価格は下落する。
 3. 供給が減ることで消費者の購買意欲が減退するため、価格は下落する。
 4. 商品の価値そのものは変わらないため、供給量に関わらず価格は一定に保たれる。
- 問2 縦軸に価格、横軸に数量をとった需要曲線と供給曲線のグラフにおいて、現在の価格が、需要量と供給量が一致する「均衡価格」よりも高い位置に設定されているとします。このとき、市場で起きている状況とその後の価格の動きについて述べたものとして、最も適切なものはどれですか。(2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 供給量が需要量を上回る供給超過の状態であり、価格は下落する方向に動く
 2. 需要量が供給量を上回る需要超過の状態であり、価格は下落する方向に動く
 3. 供給量が需要量を上回る供給超過の状態であり、価格は上昇する方向に動く
 4. 需要量が供給量を上回る需要超過の状態であり、価格は上昇する方向に動く
- 問3 日本経済において円安が進んだ際、輸出企業に与える影響とその背景にある仕組みについて説明したものととして、最も適切な記述を選びなさい。(2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 日本円の価値が相対的に下がることで、輸出先の通貨で見た商品の価格が下落し、海外での販売がしやすくなる。
 2. 日本円の価値が相対的に上がることで、輸出先の通貨で見た商品の価格が上昇し、1点あたりの売上利益が増大する。
 3. 円安によって海外から輸入する原材料の価格が下落するため、輸出商品の製造コストが下がり、利益が増加する。
 4. 円安になると日本政府が輸出企業に対して補助金を出す仕組みがあるため、輸出額が増加する。
- 問4 2024年度の日本の携帯電話市場において、上位3社の契約数が市場全体の96パーセントを占めている状況のように、少数の大企業がある商品の市場の大部分を支配している状態を何と呼びますか。(2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 寡占
 2. 独占
 3. 自由競争
 4. 多売
- 問5 ある期間の為替相場において、1月(1ドル=80円)、6月(1ドル=100円)、12月(1ドル=120円)という推移があったとします。このうち、日本の自動車メーカーが米国へ製品を輸出する際に、最も価格競争力が低下し、厳しい状況になると考えられる時期とその理由を説明したものを選びなさい。(2023年 青森県公立入試 類似)
1. 1月のレートでは円の価値が最も高く、米国市場でのドル建て価格が上昇しやすいため、輸出企業にとって不利になる
 2. 12月のレートでは円の価値が最も高く、米国市場での販売価格を安く設定できなくなるため、輸出企業にとって不利になる
 3. 1月のレートでは円の価値が最も低いため、米国から輸入する部品代が高騰し、製造コストの面から輸出に不利になる
 4. 12月のレートでは円の価値が最も低いため、日本円で受け取る代金が目減りし、企業の利益が減少するため不利になる
- 問6 所得の格差を是正し、国民の生活を安定させるために、国が税金や社会保険料などの国民負担を増やし、その財源を用いて社会保障や教育などの公共サービスを充実させようとする考え方を何と呼びますか。(2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 大きな政府
 2. 小さな政府
 3. 保護貿易
 4. 夜警国家
- 問7 いちごの市場において、12月は入荷量(供給量)が年間を通じて極端に少ないわけではありませんが、価格は1年で最も高くなる傾向にあります。この理由として適切なものはどれですか。(2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 冬場は生産コストが下がるため、販売価格が調整されるから。
 2. クリスマスケーキなどの需要が非常に高く、需要が供給を上回るから。
 3. 入荷量が多い時期ほど、価格が高くなるという市場の法則があるから。
 4. 需要が少ない時期にあたるため、生産者が価格を吊り上げているから。
- 問8 農産物の流通において、生産者から卸売業者、小売業者を経て消費者に届く一般的な経路に対し、生産者が消費者に直接販売する「産地直送」という形態があります。この流通形態が、消費者にとって「より安い価格で新鮮な商品を購入できる」というメリットを生む主な理由は、どのような仕組みによるものですか。(2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 流通の各段階で発生する中間マージン(仲介手数料や利益)が削減されるため
 2. 卸売業者が価格を調整することで、小売業者の仕入れ価格を低く抑えるため
 3. 宣伝広告費を大幅に増やすことで、大量生産によるコストダウンを図るため
 4. 生産者が自由に価格を決めることで、常に市場価格よりも高い利益を確保するため
- 問9 1968年に制定された消費者保護基本法が、2004年に抜本的に改正されて成立した法律があります。この法律は、消費者を単に「保護される対象」とするのではなく、「権利の尊重」と「自立の支援」を基本理念に掲げています。国や地方公共団体、事業者が消費者の利益を守るために果たすべき責務を明らかにしているこの法律の名称を選びなさい。(2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 消費者基本法
 2. 製造物責任法(PL法)
 3. 消費者契約法
 4. 特定商取引法
- 問10 家計が企業に労働力を提供し、企業が家計に賃金を支払うという経済の仕組みにおいて、この循環が滞った場合に起こる現象の説明として、背景や因果関係が正しいものはどれですか。(2014年 兵庫県公立入試 類似)
1. 企業の業績が悪化して家計への賃金支払いが減ると、家計の購買力が低下し、企業の商品の売れ行きがさらに落ちる。
 2. 家計が労働力の提供を増やすと、企業の生産コストが下がるため、家計に支払われる賃金総額が必ず増加する。
 3. 政府が家計への賃金支払いを禁止することで、企業の利潤が最大化され、市場経済全体の消費支出が拡大する。
 4. 家計が賃金を受け取らなくなると、企業は商品を無償で提供しなければならなくなるため、経済の循環が加速する。
- 問11 需要量と供給量の関係を示した資料において、供給曲線が需要曲線よりも右側(数量が多い状態)に位置する価格帯では、市場ではどのようなメカニズムが働きますか。その内容として正しいものを選びなさい。(2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 売り手同士の競争が起こり、価格が下がる
 2. 買い手同士の競争が起こり、価格が上がる
 3. 商品の希少価値が高まり、価格が上がる
 4. 政府が介入して、価格を一定に維持する
- 問12 消費者の被害を救済する法律に関する記述のうち、製造物責任法(PL法)が対象としている事例として適切なものはどれですか。(2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 購入した電気製品の配線に欠陥があり、火災が発生して家財を焼失したため、メーカーに賠償を求めた。
 2. 販売員から「必ず値上がりする」と嘘の説明を受けて高額な契約を結んでしまったため、契約を解除した。
 3. スーパーで購入した生鮮食品が広告の表示価格より高かったため、差額の返金を求めた。
 4. インターネット通販で購入した商品が、一週間経っても届かないため、運営会社に問い合わせた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 需要が供給を上回ること で商品の希少性が高まり、 価格は上昇する。	市場経済では、価格は需要（買い手が求める量）と供給（売り手が提供する量）のバランスによって決定されます。供給量が減少して需要を下回る状態になると、その商品は手に入りにくい「希少」な状態となります。このとき、高い代金を支払ってでも商品を手に入れようとする競争が働くため、価格は上昇します。逆に、需要が供給を下回る（供給過剰）と、価格は下落する傾向にあります。
問2	答え 1 供給量が需要量を上回る供給超過の状態であり、 価格は下落する方向に動く	市場において価格が均衡価格よりも高い場合、売り手が売りたいと考える「供給量」が、買い手が買いたいと考える「需要量」を上回ります。この状態を供給超過（売れ残りがある状態）と呼び、売り手は商品を売り切るために価格を下げるようになります。その結果、価格は次第に均衡価格へと近づいていきます。
問3	答え 1 日本円の価値が相対的に下がることで、輸出先の通貨で見た商品の価格が下落し、海外での販売がしやすくなる。	円安とは、外国通貨に対して日本円の価値が低くなる現象を指します。これにより、海外市場においては日本製品が従来よりも安い外貨建て価格で提供できるようになり（価格の下落）、価格競争力が増して輸出が促進されます。また、輸出した後に受け取った外貨を日本円に換算する際も、円安の方が受け取れる円の額が多くなるため、輸出企業の収益は向上しやすくなります。
問4	答え 1 寡占	市場において特定の1社のみが商品を供給している状態を「独占」と呼ぶのに対し、携帯電話市場のように少数の有力な企業がシェアの大部分を占めている状態を「寡占」と呼びます。この状態では、価格競争が正しく機能しなくなることが懸念されるため、公正取引委員会による監視などが行われます。
問5	答え 1 1月のレートでは円の価値が最も高く、米国市場でのドル建て価格が上昇しやすいため、輸出企業にとって不利になる	示された3つの時期のうち、1ドル＝80円である1月が最も円高の状態です。円高の状況下では、例えば日本で100万円の車を輸出する場合、1ドル＝120円の時（約8,333ドル）に比べて、1ドル＝80円の時（12,500ドル）の方が、米国での販売価格が高くなってしまいます。このように、現地での価格が上昇し、商品が売れにくくなるため、最も円高である1月が輸出において最も不利な時期といえます。
問6	答え 1 大きな政府	国民の税負担は重くなりますが、その分、行政による福祉やサービスが手厚くなるのが特徴です。累進課税などの仕組みを使い、富の再分配を積極的に行うことで、社会全体の公平性を高めることを目的としています。
問7	答え 2 クリスマスケーキなどの需要が非常に高く、需要が供給を上回るから。	商品の価格は単純な供給量だけで決まるのではなく、需要との相対的な関係で決まります。12月のいちごは、クリスマスなどの行事による需要が極めて大きいため、一定の入荷量（供給）があっても、それを上回る需要が発生することで価格が上昇します。
問8	答え 1 流通の各段階で発生する中間マージン（仲介手数料や利益）が削減されるため	通常の流通経路では、卸売業者や小売業者などの複数の業者が関わるため、それぞれの段階で手数料や利益が上乗せされます。産地直送ではこれらの業者を通さないため、それらのコストを削減することができ、消費者は新鮮なものをより安く、生産者はより高い利益を得ることが可能になります。
問9	答え 1 消費者基本法	時代の変化に伴い、消費者が自ら情報を集めて適切な選択を行う「自立」を促すことや、消費者の権利を明確に尊重することが重要視されるようになりました。この法律は、日本の消費者政策の基本的な方向性を示す、もっとも土台となる法律です。
問10	答え 1 企業の業績が悪化して家計への貸金支払いが減ると、家計の購買力が低下し、企業の商品の売れ行きがさらに落ちる。	経済は循環しているため、一つの流れが滞ると他の主体にも影響が及びます。企業からの貸金支払いが減れば、家計は消費を抑えざるを得ません。その結果、企業の製品が売れなくなるといった悪循環（不況のメカニズム）が生じます。この相互依存関係が市場経済の基礎となっています。
問11	答え 1 売り手同士の競争が起こり、価格が下がる	供給量が需要量を上回っている状態は、市場に商品があふれていることを意味します。このとき、生産者や販売業者は、売れ残りを避けるために他社よりも価格を安くしてでも売ろうとする「売り手による競争」を展開します。その結果、価格は下落する方向に働き、需要量が増加して供給量が減少することで、再び需給のバランスが取れるようになります。
問12	答え 1 購入した電気製品の配線に欠陥があり、火災が発生して家財を焼失したため、メーカーに賠償を求めた。	製造物責任法は、製品の「欠陥」によって、その製品以外の財産（家財など）や、人の生命・身体に被害が及んだ場合に適用されます。選択肢にある「不当な説明による契約解除」は消費者契約法がカバーする範囲であり、商品の未着などのトラブルは民法の契約に関する規定や消費者保護の別の枠組みで扱われます。